

価値関連性分析(非財務価値の可視化)

本項では従業員をはじめとする「人材」に関連する当社のマテリアリティ「人の尊重」、「地域との共生」がどのように財務的な企業価値向上に結び付いているか仮説をたて、ストーリーの可視化を行いました。J-POWERグループは大規模な発電・送変電設備によるエネルギー供給事業を展開しており、それらの電力設備を適切に運営し、地域社会との共生を担っているのは「人材」だと考えています。一つ目の「人の尊重」においては、従業員が様々なキャリアや経験を蓄積することによって、多様な専門性を持った「人材の質と量」が担保され、これにより当社の設備の安定稼働が実現し「既存事業への貢献」、「カーボンニュートラルに向けた事業の変革」に貢献します。2つ目の「地域との共生」においては、国内外の地域共生活動を通じて、地域やその他のステークホルダーと信頼関係を構築することで、既存事業の円滑な継続、新規事業獲得に繋がっています。また本分析により、2つのマテリアリティの間に関連性があり、地域との共生のマテリアリティが「従業員エンゲージメント向上」、「人材の質・量」の確保につながっていることも可視化しました。当社はこれまでも人材と地域共生を大切に事業を展開してまいりましたが、今回改めてその重要性を整理しました。今後も引き続きこれらの取り組みを継続していきます。

